

広域連合が目指すべき将来像の基本的な考え方 【第3期広域計画】

- (1)国土の双眼構造を実現し、分権型社会を先導する関西
- (2)個性や強みを活かして、人の環流を生み出し、地域社会が発展する関西
- (3)アジアのハブ機能を担う新首都・関西

関西の現状を踏まえた提言

第1 関西を取り巻く状況

(人口減少・少子高齢化社会へ)

		2015年	2045年
人 口(人)	全国	1億2,709万	1億642万
	関西	2,205万	1,794万
高齢化率(%)	全国	26.6	36.8
	関西	27.1	37.6

・関西においては、首都圏への人口流出等により、少子高齢化に拍車がかかり、経済面においても、企業の本社機能流出等により、西日本における地位が低下している。

・このような状況から脱却するために有効な関西のポテンシャル

- 長い歴史と豊かな伝統・文化
- 都市部と農村部の近接
- 産業・学術機関等の集積
- など

広域計画及びその取組への反映

第2 目指すべき関西の将来像の実現のために

1 人の環流を生み出す基盤

(1) 関西の魅力の発揮

- ・長い歴史に根差した文化、産業、生活等の活用
- ・SDGsの理念の実現
- ・都市部と農村部が近接した地勢の活用
- ・柔軟な発想の重要性
- ・情報発信の充実

(2) 教育の重要性

- ・小中学校、高等学校における教育の充実
- ・大学における教育の充実
- ・大学間の連携の強化

(3) ネットワークの構築

- ・ネットワークづくりの視点
- ・府県域を越えたネットワークづくり
- ・国境を越えた都市間ネットワークの強化

(4) 交通インフラ整備

- ・新幹線ネットワークの整備
- ・空港の運用と空港へのアクセスの向上
- ・主要港湾の機能強化
- ・高速道路のミッシングリンクの解消等

2 取組に関する提言

(1) 働く場の創出

- ・新規開業の促進
- ・伝統産業等の活用
- ・イノベーションの創出
- ・産業クラスターの連携
- ・地域の特性の活用
- ・人のつながりへの支援
- ・農林水産業の振興

(2) 観光資源の活用

- ・地域資源を活用した多面的な観光施策の展開
- ・観光による地域振興の推進
- ・スポーツツーリズムの推進
- ・観光情報の発信の強化

(3) 歴史と文化の発信・継承

- ・文化資源の掘り起こし
- ・他地域との連携
- ・関西文化首都の取組検討

(4) 人材の育成・確保

- ・大学間の連携、大学と企業の連携の推進
- ・海外からの「人」「カネ」「技術」の獲得
- ・外国人労働力の確保
- ・生涯教育の推進
- ・大学教育のあり方の検討、教育環境の整備
- ・地域プロデューサーの育成

(5) 新しいライフスタイルへの誘導

- ・ワークライフバランスの推進、労働環境の改善
- ・多様な働き方・暮らし方の推進
- ・都市と農村の交流の推進
- ・豊かな生活を送るための生涯教育の推進

(6) 国際的イベントの誘致・活用

- ・大阪・関西万博
- ・国際的イベントの誘致・活用

(7) 関西広域連合の取組・運営

- ・人材登用、職員意識の醸成
- ・財源・権限の確保
- ・地域の長所を伸ばすための取組
- ・広域連合の運営、広域計画策定への提言
- ・政府関係機関移転促進

3 ソフトパワーの活用

関西の歴史に根差した伝統、文化、食、芸術などの戦略的な活用

第3 関西広域連合のこれまでの取組と課題 広域事務等に係る検証（自己点検）についての助言

- ・経済団体のほか、NPOなど多様な団体との幅広い連携を意識した取組の推進
- ・地方分権を意識した取組が必要